

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

宮崎県 高千穂町

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（％）
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
1	-	-	-
その他発電所数	料金契約終了年月日	FIT・FIP適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	令和26年6月12日 畑中小水力発電所	令和26年6月12日 畑中小水力発電所	有
売電先	地産地消の見える化率（％）※1		
九州電力送配電株式会社	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであることを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	R02	R03	R04	R05	R06
水力発電	-	-	-	-	405
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	-	-	-	-	-
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	405

  

年間電灯電力料収入（千円）	FIT・FIP以外	FIT・FIP	合計
	-	7,122	7,122

剰余金の使途について（具体的な使用実績事業を記入してください）	
基金への積立の有無…有 目的：用水路などの農業水利施設の維持管理費に充て、農家の負担を軽減するとともに、地域の活性化につながる取り組みにも活用する	6,825千円
一般会計への繰出しの有無…有 目的：用水路などの農業水利施設の維持管理費に充て、農家の負担を軽減するとともに、地域の活性化につながる取り組みにも活用する	1,969千円
その他の有無…無	

分析欄

1. 経営の状況について  
収益的収支比率582.7％、営業収支比率585.1％と極めて高い数値を示しており、販売単価0.37円/kWh・年間発電電力量405MWhという事業規模に対しても、費用の抑制と安定した稼働が大きく寄与した結果といえる。EBITDA6,825千円を確保しており、減価償却前のキャッシュ創出力は初年度として十分で、資金繰りや債務返済、今後の修繕・更新の原資確保において高い余裕度を持つ。供給原価3,491.4円は販売単価を大きく下回る水準であり、単位当たりの粗利も厚いことから、現時点では収益性が極めて良好であると判断できる。

## 1. 経営の状況



## 2. 経営のリスク

●施設全体

●発電型式別

施設全体	水力発電 (最大出力合計50kW)	ごみ発電 (最大出力合計-kW)	風力発電 (最大出力合計-kW)	太陽光発電 (最大出力合計-kW)
設備利用率（％）	92.5	92.5	該当数値なし	該当数値なし
修繕費比率（％）	5.3	14.9	該当数値なし	該当数値なし
企業債務高対料金収入比率（％）	191.4	419.5	該当数値なし	該当数値なし
有形固定資産減価償却率（％）	該当数値なし	該当数値なし	該当数値なし	該当数値なし
FIT・FIP収入割合（％）	100.0	100.0	該当数値なし	該当数値なし

## 2. 経営のリスクについて

当事業は販売先が九州電力送配電の単一であり、価格決定力が限定されるため、将来的な契約条件の変動や売電制度の見直しによる収益影響には注意が必要となる。また小水力発電は水文条件による発電量の振れが避けられず、渾水や豪雨後の取水制限などにより電力量が減少するリスクが存在するため、近年の水量傾向と停止時間の把握、稼働KPI（設備利用率・計画外停止率）の継続的管理が重要となる。特に河川状況に左右される除塵作業や取水設備の清掃頻度が増えたと、維持管理費の上振れが発生しやすく、収益性を圧迫する可能性もある。

全体総括

今後は、費用構造を固定費・変動費に分解し、どの程度稼働率が落ちてでも採算が維持できるかを把握することで、事業の下振れ耐性を強化することが望ましい。また、予防保全の計画化や設備状態監視の精度向上により、計画外停止の削減と大規模修繕費の平準化を図ることができる。総じて、現状は極めて高い収益性を示すが、この水準が恒常的に続くとは限らないため、3か年程度の指標推移をモニタリングし、費用・稼働・売電単価の変動に備えた管理を継続することが、安定的な事業運営と将来の設備更新余力確保に向けて重要となる。

※ 令和2年度から令和6年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債務高対料金収入比率、FIT・FIP収入割合については、令和6年度の団体数を基に平均値を算出しています。